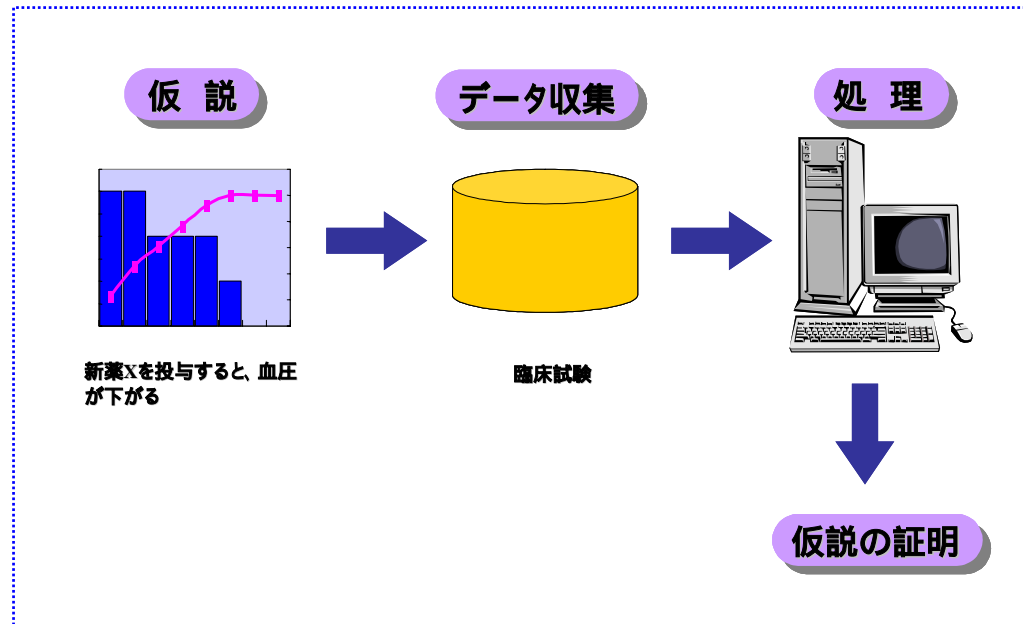


図1 . 医薬品生産額と医師数の変化

## 統計解析



## データマイニング

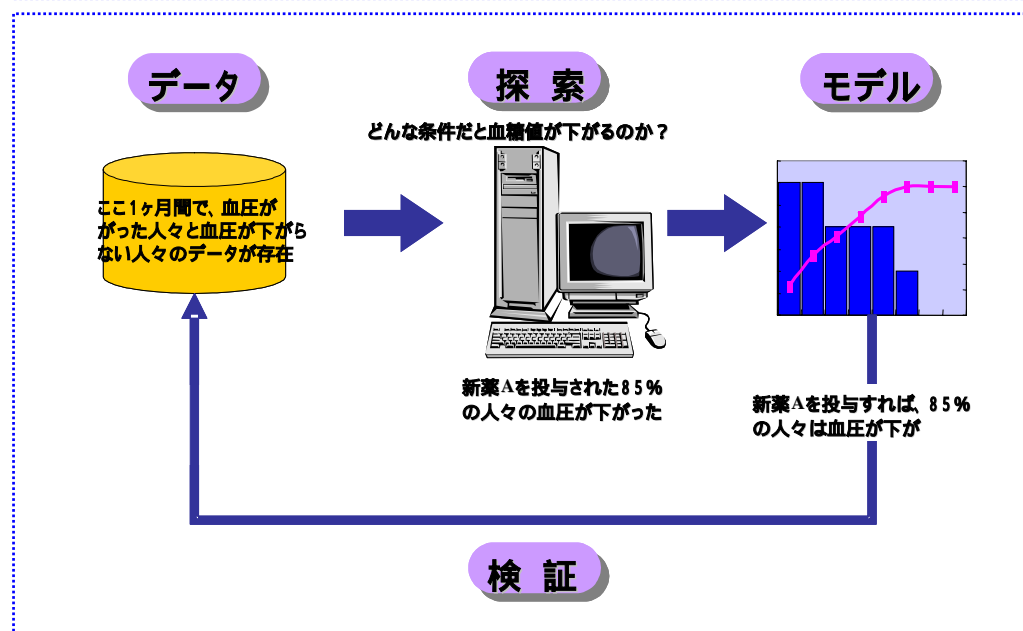


図2 . 統計解析とデータマイニングのプロセス

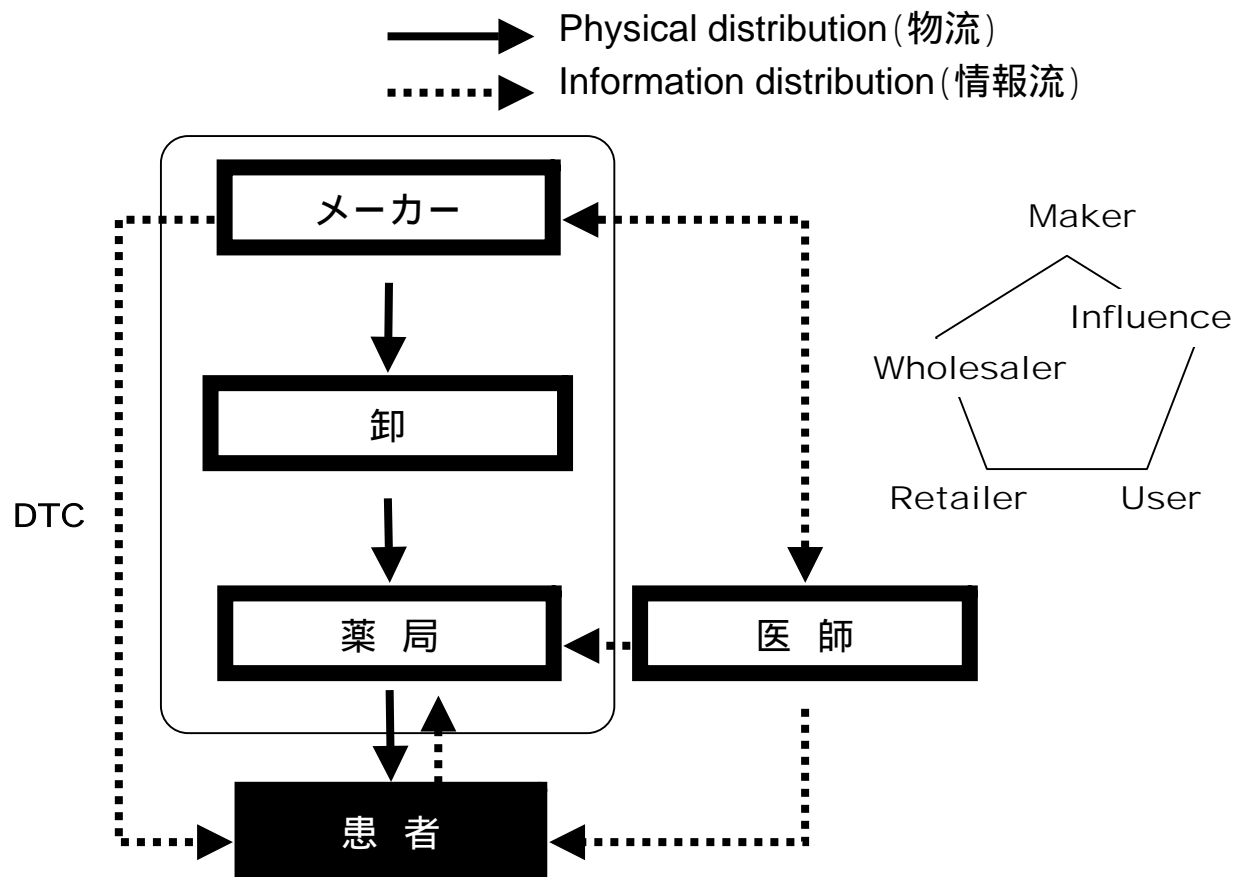


図3 . 医薬品市場の5人のプレイヤー

表1 患者数推計に用いられる各種二次データ

調査名称	調査の概要	マーケティング上重要な調査項目
人口動態統計	出生・死亡・死産・婚姻・離婚・養子縁組・嫡出化・認知・婚姻の無効・法的別居について届出票に基づきまとめられている。	死因と死亡者数
患者調査	病院、一般診療所、歯科診療所から無作為に施設を抽出する標本調査。10月のある1日にその施設で診療を受けた全患者について、性・生年月日・住所・入院外来の別・傷病名・診療科・紹介の有無などを調査。	罹患傷病と患者数、医療機関ごとの患者数
受療行動調査	患者本人から待ち時間や医療の満足度等を患者調査と平行して調査。	医療に関する患者の意識
社会医療診療行為別調査	保険診療によるレセプトの標本調査。毎年6月請求分のレセプトを診療機関別に層化抽出を行ない集計。傷病名、診療日数、診療内容、薬剤使用実態などを調査。	診療内容、薬剤使用実態
国民生活基礎調査	全国から無作為に世帯を抽出する標本調査。世帯の状況、収入、自覚症状、通院状況、日常生活への影響などを調査。	有訴率
学校保健統計調査	児童生徒等を対象とし、疾病・異常状況、身体検査結果などを調査。	身体状況
結核・感染症発生動向調査	医師が保健所長へ報告の義務がある感染症の届出をまとめたもの。	感染症の発生動向
国民栄養調査	全国から無作為に抽出された5千世帯(1万5千人)に対して、毎年11月のある1日に実施される。栄養摂取状況、身体状況等の調査。	栄養状況、身体状況

表2 UPDMの各データセットと調査項目

データ項目		データセット名	TDS D	H P R
			疾患・処方分析	病院・調剤連携マップ
データID				
患者情報	性別			
	年齢			
	診療年月			
薬 剤	薬剤名			
	1日処方量			
	処方日数			
	剤型・用量(mg数など)			
疾患名	ICD-10(中分類)			
	疾病名(小分類)			
医療機関	UBコード			
	名称			
	病床数			
	所在地(都道府県 市区町村)			
調剤薬局	UBコード			
	名称			
	所在(都道府県、市区町村)			

# TDSDによる推定患者数

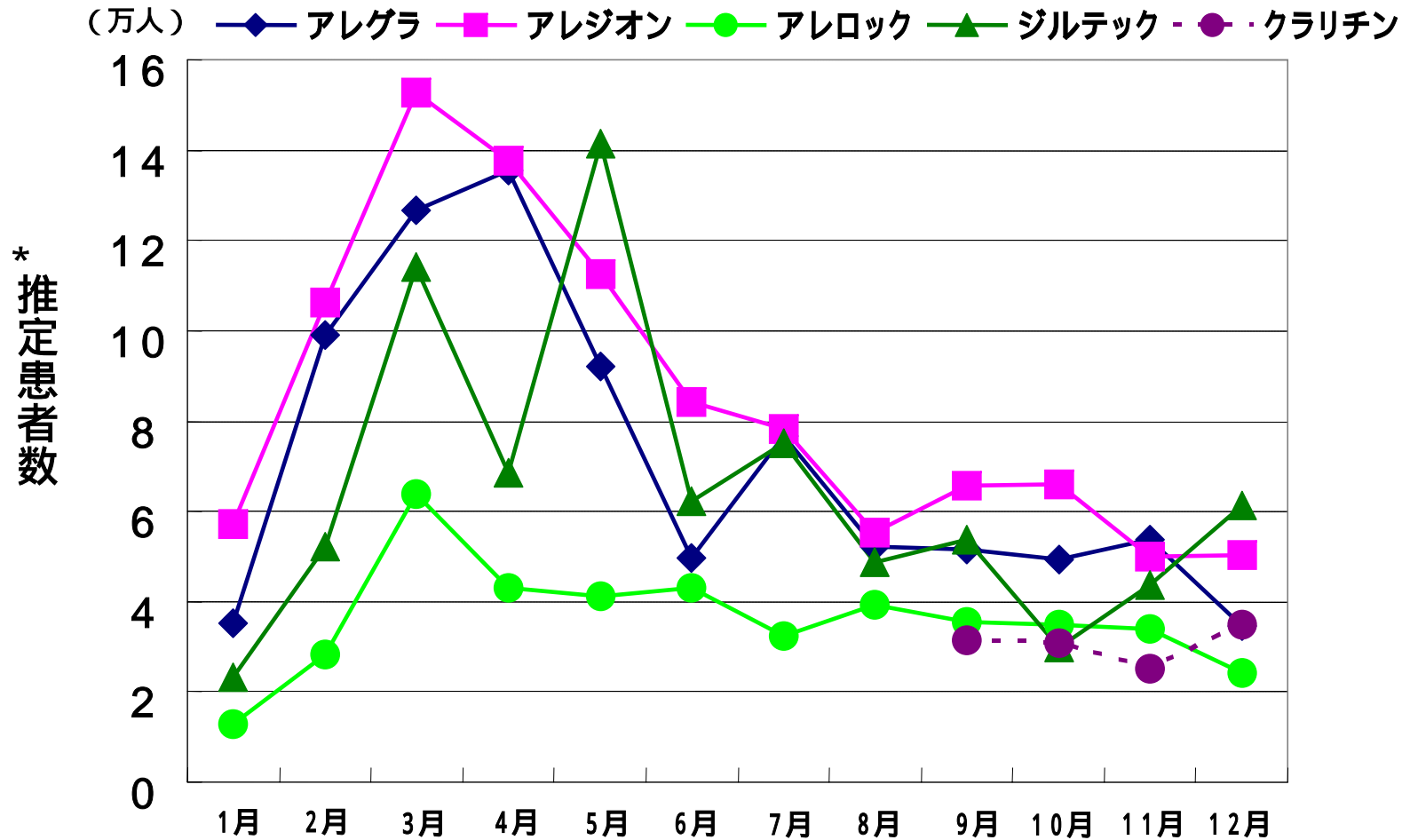


図4 主なアレルギー性疾患治療薬の処方患者数推移（単月）  
（診療期間：2002年1月～12月）

\*当社の患者データベース（UPDM）のデータを、性別・年齢層（10歳）ごとに月別に集計し、平成11年患者調査をもとに直説法による年齢補正を行った。

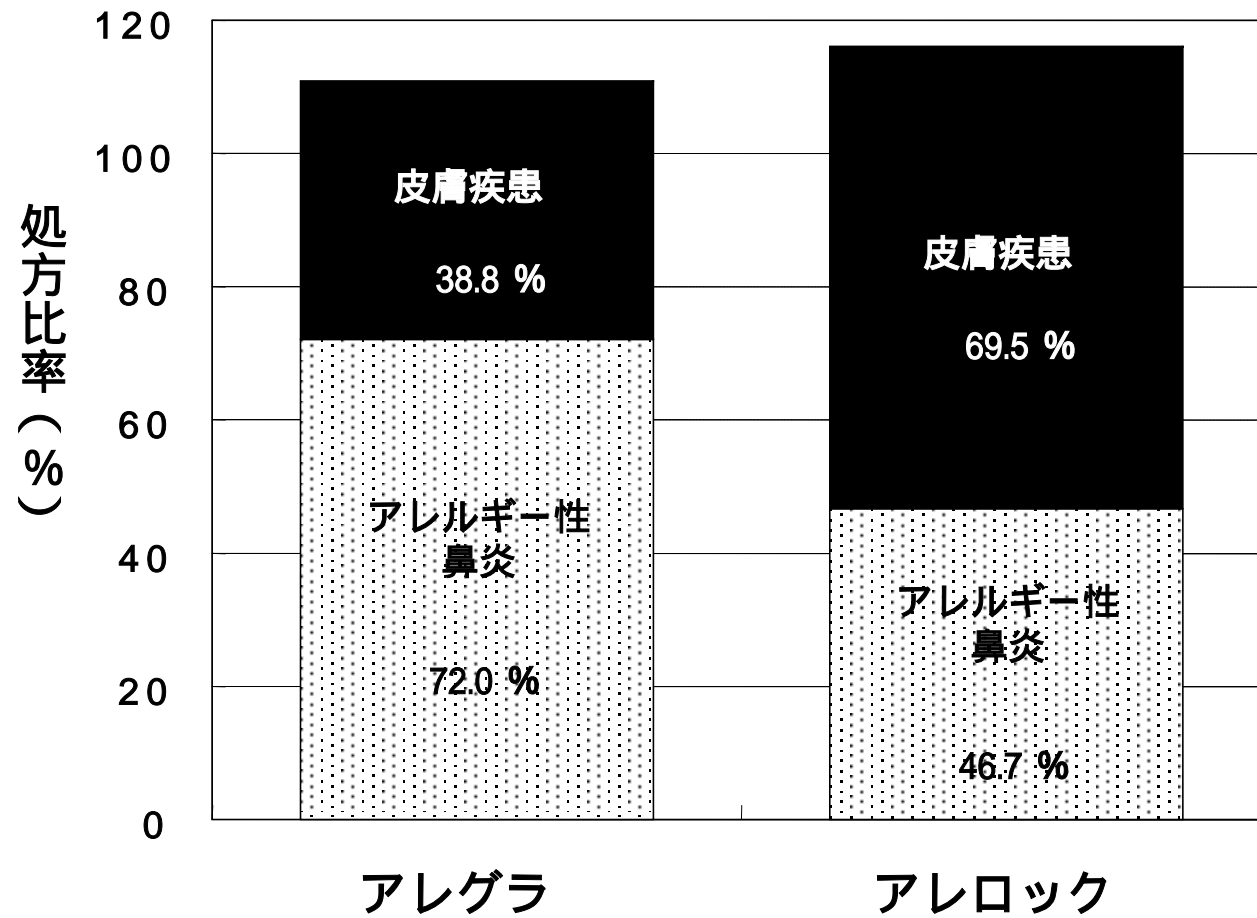


図5 アレグラとアレロックの処方目的  
 (診療期間：2002年1月～12月)

表3．全患者罹患率

傷病名	罹患率(%)
高血圧症	7.3
急性上気道炎	6.8
アレルギー性鼻炎	6.4
高脂血症	6.1
急性気管支炎	5.1
アトピー性皮膚炎	4.2
胃潰瘍	4.1
不眠症	3.8

表4．高血圧症患者の医薬品服用率

平均服用薬剤数：3.6

薬剤名	薬効小分類名	服用率(%)
ノルバスク	血管拡張剤	20.1
アムロジン	血管拡張剤	9.8
プロプレス	血圧降下剤	7.9
メバロチン	高脂血症用剤	7.6
ニューロタン	血圧降下剤	6.2

表5．高血圧治療薬の売上金額シェア

薬剤名	薬効小分類名	99年売上(億円)	シェア(%)
ニューロタン	血圧降下剤	370	12.8
レニベース	血圧降下剤	310	10.8
プロプレス	血圧降下剤	300	10.4
ノルバスク	血管拡張剤	650	23.7
アダラート	血管拡張剤	390	14.1
アムロジン	血管拡張剤	330	11.9

ユート・プレーン推計

表6．高血圧症患者の合併症

傷病名	合併症率(%)
高脂血症	33.5
糖尿病	21.6
胃潰瘍	12.0
不眠症	11.5
狭心症	10.8

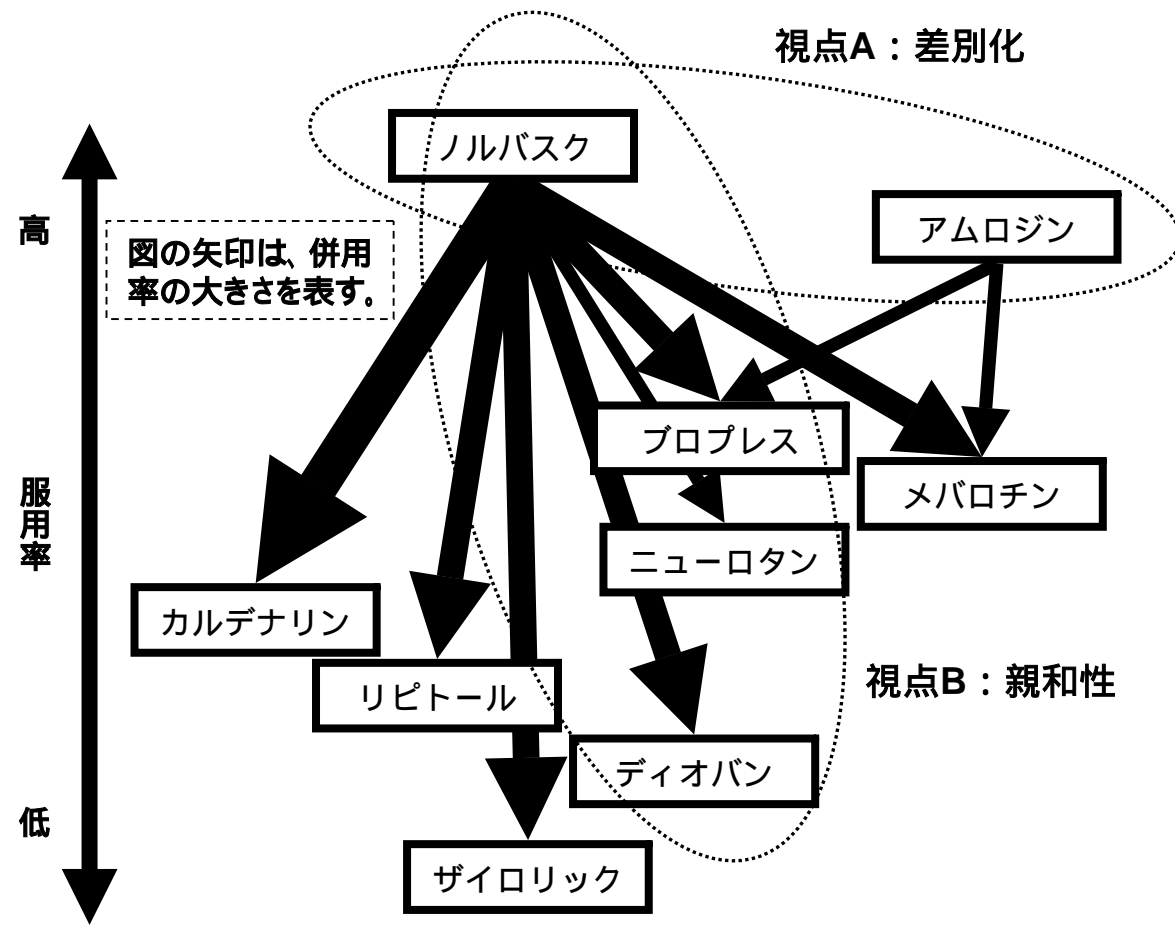


図6 . 高血圧症患者を対象とした併用構造